

百人一首大会 フォトギャラリー



▲指を磨きました……

3月27日に、今年度最後の百人一首大会を実施しました。今回は、ようやく100首覚えての大会。来年度はさらに力をつけられますように……！！

テストが終わっていない生徒は、4月3日9時半に11演習室（礼法室横）に集合。その日に来られない者は言いに来ること。



百人一首大会結果

(枚数差の大きいチームから紹介)

- ①立山晟・奥谷珠羽・橋本万生 (33枚差)
- ②眞田柚・松下岳士朗・井ノ上遥斗 (26枚差)
- ③比江島優人・藤田姫乃 (25枚差)
- ④今村祐翔・兒玉陶子・木藤伶師 (22枚差)
- ⑤長友蒼葉・那須心音 (21枚差)



黄緑の蕾の中に眠りいし

赤白黄色が日ごと咲き出づ

ニユース・ドゥック・ソラゴト
期末テストでの点数がさ増し
生徒X氏が、宮崎第三中学校で期末テストの点数をかき増していたことが発覚した。その事に気が付いた友人Y氏は、「Xの点数表を見ると少し引つかかる点があり、一晩かけてその不審な点を解明した」と語る。X氏は「今回良い点を取るとアイフォンを十台買ってもらえたんだ」と語った。学校側はX氏に発言をさせるという厳しい処分を下した。さらに学校側は今後も同じような事がある場合、逮捕も視野に入れている。(平井梨愛)

出版から425年目で本当の恋劇

ニユース・ドゥック・ソラゴト

昨日、文科省が『ロミオとジュリエット』を「反青少年教育文学」に認定し、教育現場での使用を控えるようにと主張した。理由は、主人公ロミオがジュリエットへのストーカー、不法侵入、暴力行為など、作中での問題行動が法に触れていると専門家から指摘されたからだ。また、身分の違う二人が結ばれたのはジュリエットが婚約詐欺を計画していたためとの疑いもある。物語のラストよりも無慈悲な悲劇となったが、こんな壁も二人の戀の軽い翼で踰えてほしい(※注)。(中倉浩輔)

※注 素読で読んだ「ロミオとジュリエット」の第一節「チュリエット：ま、どうしてここへ？ やすうのはのぼらぬれば、それにお前の身分は、もし家の者が見つければ、忍ちお命が無からうす。」をうまく利用しています。

ニユース・ドゥック・ソラゴト 新バイナッブル、超未来的新デバイスを発表

先日、マイフォンやマイパッドなどで有名なナッブル社が、新型の連絡用デバイス「イトフォン」を発表した。これは、電波を使用しないというコンセプトで製作された革新的商品だ。この発表に対しナッブルファンは、「このイトフォンは電気も使用しないため、バッテリーの劣化問題も解消できる。それにより、いつまでも安心して使用することができ最高の商品となった。」と語っている。ナッブル社の革新的デバイス、イトフォンは、定価九万六千円で、二〇一九年秋に発売予定。(山内光)



コラムマラソン 第八回
「全力」
物事には必ず「終わり」があるということ。それを、なぜ普段は意識できないのだろう。そうやって、かけがえのない時間を無駄に過ごしてしまったりして、いよいよその「最後のとき」が近づいて初めて焦ったりする。
娘が、小学校を卒業した。ランドセルを背負う最後の日、もう二度とこの姿を見ることはないのだと思うと、なぜもっと毎日しっかり見ておかなかったのだろう、と胸がモヤモヤした。
春は、「終わり」に満ちている。人生だって、もちろんそう。そのときが近づいて初めて、胸を焼くような焦燥感に苛(さいな)まれないよう、
今を、全力で、生きる。

狭間千穂